

## 表現力

## 鉛筆デッサン

## ●対象学科

写真／デザイン／インタラクティブメディア／アニメーション／ゲーム／マンガ

## ●対象選抜区分

表現力選抜／留学生選抜／一般選抜Ⅱ期B方式

## ●試験の内容

与えられた条件にしたがって、鉛筆デッサンを行う。

解答用紙：B3判イラストレーションボード（2mm厚 M画用紙）

試験時間：180分

持参用具：鉛筆（硬軟自由）・消し具・鉛筆削り（カッターナイフ・紙やすり・芯削りを含む）・羽ぼうきまたは刷毛（ハケ）・はかり棒・  
ぼかし具（ティッシュ・ガーゼ・擦筆など）

※下書き用紙は本学で用意します。上記の用具以外は使用不可とします。

## ●出題意図

クリエイターに求められる能力としては、絵の構図の良し悪しに対する判断力や、対象を着実に捉えることのできる観察力があります。そうした基礎的な画力や構成力を持つ人であることに加えて、クリエイターに必要な発想力の豊かさも併せ持つ人を求めて出題しています。

## ●評価のポイント

- ・問題の目的や状況を正確に表現していること。
- ・発想力や感性に優れていること。
- ・構図、形、動き、光、量感などが的確に描写されていること。

## ●アドバイス

入門書や美術の先生から鉛筆デッサンの基礎を学び、とにかく描く機会をより多く持つことです。講習会の利用や美術の先生の指導を求めましょう。石膏像など本格的なモチーフがなくても自分の手足や暮らしの中の物に目をむけ観察し絶えず描くことが大切です。画集や展覧会などで優れたデッサン（素描）や描画（ドローイング）により多く接するようにしましょう。

## 問題内容

配布された、風船、わりばしをモチーフとして画面を構成し、鉛筆デッサンしなさい。

## [条件]

- 1) イラストレーションボードは縦位置、横位置、どちらで使用してもよい。
- 2) 与えられたモチーフは全て使用すること。個数、大きさは自由。
- 3) デッサンにはタイトルをつけること（オモテ面、四隅いずれかに「」書きで記入）。
- 4) 配布された記入用シールに整理番号と氏名を記入し、試験終了までに裏面右下に貼付すること。

## ▶例題①



モチーフ：風船、わりばし

配布された、モチーフA、モチーフBを使用して画面を構成し、鉛筆デッサンしなさい。

## [条件]

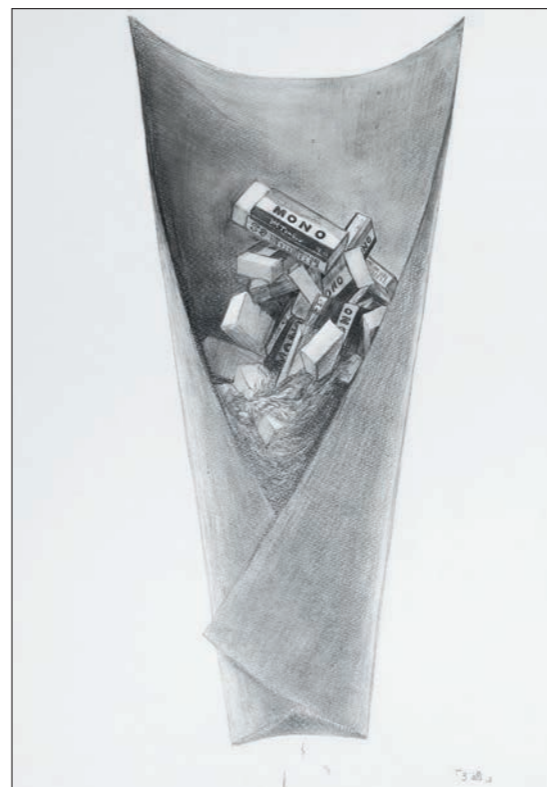
- 1) イラストレーションボードは縦位置、横位置、どちらで使用してもよい。
- 2) 与えられたモチーフは全て使用すること。個数、大きさの変更、加工は自由。
- 3) モチーフA（消しゴム）をラッピングしているビニールは描写しないこと。
- 4) デッサンにはタイトルをつけること（オモテ面、四隅いずれかに「」書きで記入）。
- 5) 配布された記入用シールに整理番号と氏名を記入し、試験終了までに裏面右下に貼付すること。

## ▶例題②

モチーフA：消しゴム  
モチーフB：クラフト紙

## 参考作品

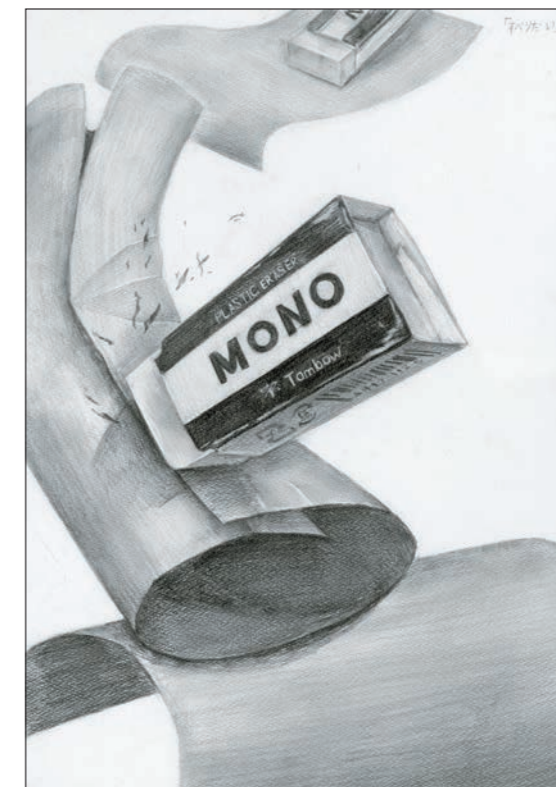
## 《作品A》



## 「る過」

与えられたモチーフの形状と材質を利用し、最終的にテーマをビジュアル化することに成功しています。実際にはない空間を想定した上でビジュアル化しなければなりません。日頃の観察・描画などの鍛錬がよく生きています。

## 《作品B》



## 「すべりだい」

実際に配られたモチーフは小さいものですが、そこに縛られず具体的なイメージを大切に、ビジュアル化させることに成功しています。空間を大きく捉える力、展開を一枚の絵で見せる力を感じます。

## 《作品C》



## 「大道芸の練習中」

課題条件とモチーフをうまく組み合わせ、見立てを行い、最終的にテーマと結びつけることに成功しています。あえて平面的な配置を行った結果、構成として分かりやすく内容を伝えることに成功しています。